

# しんかんきょう

公益社団法人神奈川県環境保全協議会

2013. 8  
第 128 号



『カルミアと蝶』 Photo in Daiyuuzan saijouji of Minamiashigara by Masao Maida

- 会員事業所（3組織・4個人）が環境保全表彰を受賞！
  - VOC、PM2.5の情報や水質事故の防止策に関する行政情報を掲載。
  - 新シリーズ「リサイクル事情あれこれ」連載スタート！
- その他、「新技術紹介」「やまのみどりの保全と再生」など・・・満載！

# 会報 しんかんきょう も く じ

平成25年 8月No.128

1	会長あいさつ .....	1
	公益社団法人神奈川県環境保全協議会会長 吉村 東彦	
2	第1回定時総会・記念講演の開催報告 .....	2
	協議会事務局	
3	会員事業所の環境保全各種表彰の受賞報告 .....	4
	協議会事務局	
4	法令・行政動向	
(1)	平成25年度環境農政局予算と主要事業 .....	6
	神奈川県環境農政局総務室	
(2)	光化学スモッグ・PM <sub>2.5</sub> の改善に向けて .....	8
	～揮発性有機化合物（VOC）の視点から～	
	神奈川県環境農政局環境部大気水質課	
(3)	水質事故の未然防止について .....	10
	神奈川県環境農政局環境部大気水質課	
5	「やまのみどりの保全と創造」に向けた企業との協働② .....	12
	森林再生パートナーになりませんか ～県と協働で取り組む森林づくり～	
	神奈川県環境農政局自然環境保全センター森林再生部水源の森林推進課	
6	新技術紹介	
24	ゼオライト系水蒸気吸着材AQSOA <sup>®</sup> を適用した新エネ・省エネシステムのご紹介 .....	14
	三菱樹脂(株)平塚工場	
7	特集「リサイクル事情あれこれ①」 .....	16
	～ガラスのリサイクル～	
	(有)飯室商店 飯室 由美子	
8	会員事業所訪問「お元気ですか？」	
	大東化学(株)平塚工場 .....	18
	協議会事務局 山崎 美紀	
9	協議会の活動状況 .....	19
	協議会事務局	
10	お国自慢・事務局だより	

## 公益社団法人発足にあたってのご挨拶



公益社団法人神奈川県環境保全協議会  
会長 吉村 東彦  
(日産自動車(株)追浜工場長)

このたび、神奈川県環境保全協議会に大きな変化がございましたのでご挨拶させていただきます。

神奈川県環境保全協議会は、昭和53（1978）年に発足し、昭和57（1982）年からは社団法人として活動してまいりましたが、この平成25（2013）年4月1日から一般社団・財団法人法に基づく「公益社団法人」として登記いたしました。

神奈川県環境保全協議会は現在、県内340ほどの工場・事業所で構成しておりますが、これまで同様に一丸となって環境づくりに取り組んでまいりますので、引き続き、県及び市町村の皆様、会員事業所の皆様には、より一層ご支援を賜りますようお願いいたします。

さて、私たちを取り巻く最近の状況ですが、一昨年の中東大震災からの復興では、この4月3日に岩手県の三陸鉄道・南リアス線が2年ぶり運行開始したという、明るい話題も出始め、ようやく本格化してまいりました。その一方では、ほとんどの原発が安全面で停止中であり、必要なエネルギーを火力発電などで何とか凌いでおり、石油などの燃料代の増加が影響して電気料金の値上げ問題もあり、生産の現場を預かる私どもにとって頭の痛い状況が依然として続いております。

この夏も東京電力管内では、供給力の点ではどうにかクリアできそうな状況ですが、料金値上げには皆様も苦慮されていることと思います。

これまで乾いた雑巾を絞るような省エネ対策を進めてきましたが、より一層エネルギーを自ら確保する、つくり出す、そして賢く使う取り組みに力を注がなければならないと考えています。黒岩神奈川県知事さんの太陽光発電、自然エネルギーの普及施策とも協調、協力して私どもも取り組んでまいりたいと思います。

この5月23日には、公益社団法人として記念すべき第1回定時総会を日産グローバル本社ホールにて開催させていただき、すべての議案についてご承認をいただきましたが、総会後の記念講演では「スマートコミュニティ」をテーマとさせていただきました。「スマートコミュニティ」とは、まだまだ馴染みのない言葉ですが、「環境配慮型都市」とも言われているように、地域全体で太陽光発電や風力発電を活用したり、私が関わっております自動車におきましては電気自動車や燃料電池車などを普及、地域全体で環境に配慮したライフスタイルを真剣に目指す時がまいりました。環境保全協議会としても、是非、スマートコミュニティの実現に向けてお手伝いしていきたくております。

今後とも、公益社団法人として会員事業所の垣根を超えた事業の展開に心がけるとともに、当協議会の設立の趣旨に沿った環境活動に力を注ぎながら、地球温暖化対策をはじめ、地域に生きる企業としての役割をしっかりと果たしてまいりたいと考えております。

# 第1回定時総会・記念講演の開催報告

公益社団法人移行後、第1回目となる定時総会は、横浜駅最寄りの「日産グローバル本社 ホール」をお借りして開催いたしました。

司会は長田理事（東芝機械㈱）、吉村会長が開会のあいさつ、そして神奈川県の子環境農政局副局長様からご祝辞をいただきました。

議長には高杉理事（アンリツ㈱）を選出し、会計監査報告を宮井監事（中外医科学研究所㈱）が行い、平成24年度事業報告(案)、収支決算報告(案)等の5議案すべてが可決されました。環境保全表彰（会長表彰）に移り、3事業者と4個人が受賞の荣誉に輝きました（表彰については4ページを参照ください。）。川上副会長（㈱さんこうどう）から閉会のことを述べて総会は締めくくられました。



受付風景



吉村会長



金子県環境農政局副局長



川上副会長



長田理事



高杉理事



宮井監事

休憩後、恒例の記念講演が、昨年と同様に一般参加者を受け入れて開催されました。



藤巻参事監

記念講演のテーマは、近未来に期待されている『スマートコミュニティ』（環境配慮型都市）として、藤巻 均神奈川県産業労働局参事監から「神奈川県が進めるかながわス

スマートエネルギー構想」についての説明、引き続き二見 徹日産自動車㈱電子技術開発本部エキ

スパートリーダーから「車の垣根を超えたスマートコミュニティについて」自らの実体験を通して熱く語っていただきました。



通常総会後のレセプションでは、日産グローバル本社6階に場所を移し、吉村会長のあいさつの後、和やかな懇談の輪が広がりました。



記念講演の演者や環境保全表彰を受賞された、笠井工場長（㈱ネモト・ルミマテリアル平塚事業所）、和田参事（㈱岡村製作所追浜事業所）、稲垣氏（中外製薬㈱鎌倉研究所）及び川口主任技師（㈱日立製作所ITプラットフォーム事業本部）の受賞者の方々から一言ずつあいさつをいただきました。



また、川上副会長から閉めのあいさつをいただきました。



（写真）西口理事（トピー工業㈱綾瀬製造所）  
岡田理事（富士ゼロックス㈱竹松事業所）

# 会員事業所の環境保全各種表彰の受賞報告

協議会事務局

本年度も多数の会員事業所の取組みが評価され、当協議会会長や県から表彰されました。受賞の皆様にお祝い申し上げますとともに、さらなる事業の発展を祈念いたします。

## ◇ 公益社団法人神奈川県環境保全協議会環境保全表彰（会長表彰） ◇

当協議会の会員の中から、環境保全の進展に努め、その実績が優れていると認められる個人、事業者を会長が表彰する事業で、昭和54年から毎年実施しています。平成25年度は次の3事業所と4個人が選ばれ去る5月23日に開催された第1回定時総会において表彰されました。



\* 受賞者の功績内容については会報127号に掲載済のため、省略いたします。

### 県産材の表彰状

県産のヒノキを使用し、レーザーで文字を焼き付けたもので、木材の材質がそのまま生かされ、ヒノキ特有の香りが特徴です。

足柄上郡大井町『堀内ウッドクラフト』製

<http://www.horiuchiwoodcraft.com/>



## ◇ 平成25年度神奈川県各種表彰 ◇

本表彰は、大気・水・土壌環境の保全、環境整備等の進展に努め、その業績が広く県民の模範となる個人や事業所を神奈川県環境農政局長、各地域県政総合センター所長が表彰するもので、今年度は川崎地域、県央地域、湘南地域から3事業所が受賞されました。

授賞式は、所長表彰は6月に県厚木合同庁舎、平塚合同庁舎において、環境農政局長表彰は7月に県庁において行われました。

### 環境農政局長表彰

花王株式会社川崎工場（川崎市）

当工場は、衣類用洗剤を始めとした家庭用製品を生産する東日本の生産拠点であり、従来から無リン化、生分解性のよい商品開発を進めてきたが、2009年環境宣言「いっしょにeco」では、目指す姿勢を明確にした。具体的な環境負荷の低減活動としては、コ・ジェネレーションシステム導入による熱源供給、コンプレッサー台数制御による効率化、蒸気ドレン（凝縮水）の回収・再利用、排水が出ないプロセス機器の採用、製品歩留まり向上と廃棄物削減などである。この結果、1990年を基準年としてエネルギー45%減、温室効果ガス40%減、用水量40%減、排水量60%減となったことなどが評価された。



### 地域県政総合センター所長表彰

三京ダイヤモンド工業株式会社（海老名市）

廃棄物の発生抑制・再使用・再利用活動推進として、廃棄物排出量の削減5か年計画到達目標を掲げ、2010年度を基準に最終年度の2015年度5%削減を目標に推進しており、着実に進捗している。改善実施としては、廃棄物減量化、分別の徹底、有価物化推進によるものである。

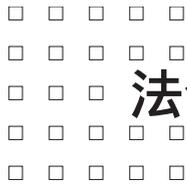
また、2011年下期から廃棄物の適正処理の一環として、電子マニフェストを導入し、事務の効率化を図るとともに、産業廃棄物処分委託業者に対する定期的な現地調査の実施などの取組みが評価された。



田中貴金属工業株式会社湘南工場（平塚市）

当工場は貴金属の回収精製、ファインケミカル用各種化合物製造、めっき製品製造及び貴金属ペーストや粉末の製造を行っている。製造段階で、各種有害物を使用しているため、排出する際に十分な注意と、排出量の削減を求められている。こうした課題のもと、環境マネジメント体制を構築・維持しながら課題解決に取り組んでいる。二酸化炭素の削減では、2012年度目標値は、総排出量の25%削減を達成できた。産業廃棄物の削減では、2013年度目標値は総排出量の50%削減を達成できた。NOxの大気への排出では、貴金属を酸で溶解する工程で発生するNOxガスを各工程での除外設備と屋上設備の2段階で除外し、端末でモニタリングする取組みなどが評価された。





## 法令・行政の動向

# 平成25年度環境農政局における 予算及び主要事業について

神奈川県環境農政局総務室

神奈川県の平成25年度当初予算は、神奈川再生への第一歩を踏み出すため、緊急財政対策に取り組み、財政基盤の確立を図る一方、少子高齢化への対応や県民の安全・安心の確保など「かながわグランドデザイン」に掲げた事業を着実に推進していく予算編成を行いました。また、地域経済のエンジンを回す施策にも大胆に取り組むとともに、国の緊急経済対策に対応し、当初予算と補正予算を一体とした「14カ月予算」として編成しました。

そのような中で、限られた財源を最大限有効に活用することが一層求められていることから、環境農政局の当初予算は、社会情勢や行政ニーズの変化を踏まえて既存事業を見直し、新たな施策・事業の推進を図り、環境の保全、農林水産業の振興に向けた取組を進めていくこととしております。

環境関連の予算につきましては、一般会計環境費の予算規模は146億9300余万円（対前年予算比98.8%）であり、県全体の一般会計総額1兆7,631億500万円に対し0.8%の構成比となっています。

以下、環境関連の施策分野ごとに、新規事業を中心に主な事業を紹介します。

### 1 地球温暖化対策の推進

- 新 省エネモデル構築事業費 6,993千円  
中小規模事業者の省エネ対策を促進するため、光熱水費等の削減額で省エネ機器等の導入費用を賄う「省エネモデル」を公募し、その効果を検証・公表することによりモデルの普及を図る。
- 新 地球温暖化対策計画改定費 5,467千円  
国の地球温暖化対策の動向を見据えながら、県の地域特性等を考慮し、神奈川県地球温暖化対策計画を改定するため、その基礎データとなる温室効果ガス排出量の将来推計等を行う。
- 環境学習推進事業費 7,444千円  
環境問題に関する企業やNPO等の専門家を派遣し、学校が実施する環境教育を支援するほか、環境情報相談コーナーにおいて節電相談など環境に関する相談等を実施する。
- 地球温暖化対策普及推進費 5,211千円  
県地球温暖化防止活動推進センター等と連携して地球温暖化問題やその影響についての情報提供を行い、県民のライフスタイルの転換を促すため、県民や企業の「マイアジェンダ制度」への登録等の取組みを推進する。

### 2 循環型社会づくり

- 産業廃棄物最終処分場費 262,441千円  
県立県営の産業廃棄物最終処分場である「かながわ環境整備センター」の維持管理等を行う。

### 3 生活環境の保全

水質常時監視費 35,413千円

水質汚濁防止法に基づき、公共用水域及び地下水の常時監視（モニタリング）を行う。

大気汚染監視費 79,122千円

大気汚染防止法に基づき、微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）等の常時監視（モニタリング）を行う。

自動車排出ガス総量削減対策事業費 12,011千円

自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法(自動車NO<sub>x</sub>・PM法)に基づき策定した総量削減計画の進捗状況の調査を実施するとともに、環境基準未達成地域に係る効果的な対策を検討・実施することにより、環境基準の早期達成を図る。

ダイオキシン対策推進事業費 10,038千円

ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、大気、水域・土壌・地下水の環境汚染状況を把握するための常時監視を行うとともに、汚染原因究明等のための緊急調査を実施する。

合併処理浄化槽整備費補助 20,066千円

生活排水による水質汚濁の防止を図るため、国、市町と連携して合併処理浄化槽整備に対し助成する。

### 4 自然環境の保全・再生と活用

水源の森林づくり事業費 2,829,565千円

水源かん養など森林の持つ公益的機能の向上を図り、良質な水を安定的に確保するため、水源の森林エリア内の私有林の公的管理・支援を推進し、森林の適切な整備を行う。

丹沢大山保全・再生対策事業費 314,925千円

丹沢大山において、中高標高域でのシカ管理捕獲の強化や土壌流出防止対策、ブナ林等の保全・再生のための研究を行うとともに、登山道整備等の県民協働事業に取り組む。

小網代の森施設整備費 155,139千円

県内に残る貴重な自然である小網代の森の保全と県民の環境学習の場としての活用を図るため、木道の設置などの施設整備を行う。

新 特定外来生物対策事業費 1,940千円

アライグマ防除実施計画の最終目標である「県内域からの完全排除」を目指し、防除対策の知識・技術の向上を図るための講習会を実施するとともに、希少種保護を目的としたアライグマの集中的な捕獲を行うなど、外来生物対策を強化する。

# 光化学スモッグ・PM<sub>2.5</sub>の改善に向けて

～揮発性有機化合物（VOC）の視点から～

神奈川県環境農政局環境部大気水質課

## 1 はじめに

夏季は、気温が高く日射量が多いことから、光化学オキシダントが高濃度になりやすく、光化学スモッグ注意報が発令されることがあります。本県では、これまで光化学オキシダントの原因物質の削減対策に取り組んでいますが、顕著な改善が見られていません。

光化学オキシダントの原因物質のひとつである揮発性有機化合物（VOC）は、微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）の原因物質でもあることから、VOCの排出抑制が求められています。

特に、夏季は気温が高く、VOCが揮発しやすい環境になるため、より一層の排出抑制が必要となります。

## 2 VOCに関する規制等について

### (1) VOCの排出抑制について

浮遊粒子状物質・光化学オキシダント対策としてVOCの排出等を抑制するため、平成16年5月に公布された改正大気汚染防止法において平成18年4月1日から、一定の施設についてVOC濃度の排出基準が設けられ、届出やVOC濃度の測定及び記録が義務付けられました。

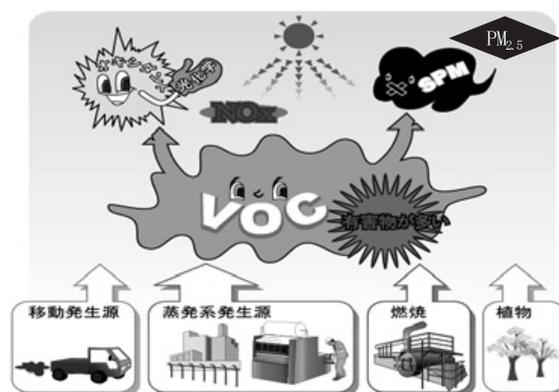
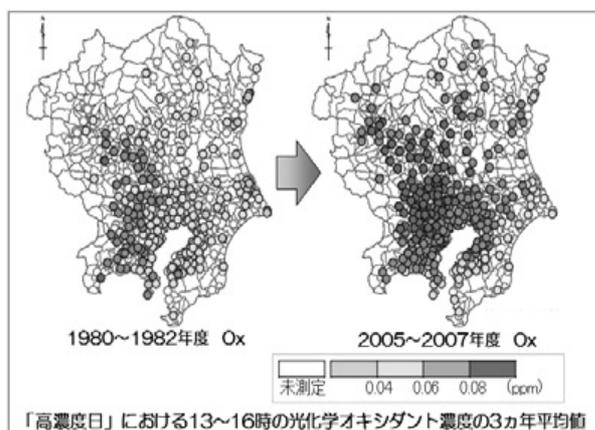
また、VOCに係る法規制と事業者の自主的取組とを組み合わせ、平成22年度までに、工場等の固定発生源からのVOC排出総量を平成12年度比で3割程度削減することが目標として掲げられました。

### (2) VOC排出量の状況について

国が取りまとめているVOC排出インベントリ検討会の調査結果によると、全国の平成22年度のVOC排出量は、平成12年度比で目標を上回る4割以上が削減され、本県でも同様に4割以上削減されたと推計されています。本県における削減量の多い上位3業種は、輸送用機械器具製造業、石油製品・石炭製品製造業、化学工業となっています。

## 3 光化学スモッグ・PM<sub>2.5</sub>の改善に向けて

VOCの排出量は削減傾向にあるものの、現時点では、光化学オキシダントによる大気汚染に顕著な改善が見られていません。そのため、光化学スモッグ注意報は未だに発令され、PM<sub>2.5</sub>の測定局においても環境基準値を超過する測定局が多い（環境基準未達成）状況であることから、



改善に向けた取組みが必要となっています。

近年では、光化学オキシダントが高濃度化・広域化する傾向にあることから、本県では、夏季のVOC対策として、近隣都県市（埼玉県・千葉県・東京都・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市）とVOCの排出抑制を共同で呼びかけているほか、VOC排出施設を設置している事業者に立入検査を実施しています。

法の遵守と自主的取組によるVOC排出抑制を継続していくことは、PM<sub>2.5</sub>の低減にもつながります。

#### 4 自主的取組の例について

自主的取組については、「こまめなフタ閉め」「低VOC製品の活用」のほか、低公害車の選択や、エコドライブの徹底などが挙げられますが、できることをひとつでも多く行うことが重要となります。

##### こまめなフタ閉め

容器のフタを閉めるだけで、VOCの蒸発濃度は格段に変わります。容器や洗浄槽等のフタ閉めをこまめに行います。

##### 廃ウエスの密閉！



##### 容器のフタ閉め！



##### 洗浄槽のフタ閉め！



##### 低VOC製品の活用

製品購入の際は、環境負荷の小さい低VOC製品を優先的に選ぶことや、印刷物発注等の際は、VOC排出抑制の取組を行う業者を優先的に選ぶことなどがあります。

#### 5 最後に

VOCは光化学オキシダントやPM<sub>2.5</sub>の主要な原因物質であることが分かっています。光化学スモッグ・PM<sub>2.5</sub>に関する大気環境の改善に向け、引き続きVOC排出削減にご協力をお願いします。

神奈川県ホームページでは、VOCに関する情報やリーフレット、PM<sub>2.5</sub>に関する情報などを掲載していますので、是非とも参照してください。

大気環境・騒音振動・悪臭メニュー / 夏季のVOC排出削減にご協力をお願いします

(VOC排出事業者向け) : <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7009/>

微小粒子状物質 (PM<sub>2.5</sub>) について : <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f470290/>

光化学注意報発令状況メインメニュー : <http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp/haturei/>

# 水質事故の未然防止について

## 神奈川県環境農政局環境部大気水質課

### 1 はじめに

神奈川県は相模川や酒匂川など、貴重な水環境に恵まれています。しかし、河川や水路等に油や有害物質が流れ込む水質事故が毎年多数発生しており、一旦水質事故が発生すると、魚や水生生物に被害が出たり、水道原水や農業用水の取水ができなくなるなど、生態系や社会生活に大きな影響を与える可能性があります。今後も貴重な水環境を保全し、将来にわたって利用していくため、水質事故の未然防止を図る必要があります。

### 2 水質事故の発生状況

平成24年度の水質事故発生件数(図1)は合計で252件であり、平成23年度の246件に比べ2%の増となっています。

経年変化を平成11年度から見てみると、発生件数は平成19年度以降減少傾向にあります。平成11年度に比べ約2倍となっており、依然として多くの水質事故が発生しております。(図1)

また、原因の判明した事故のうち、約5割は工場など事業所が原因となっています。(図2)

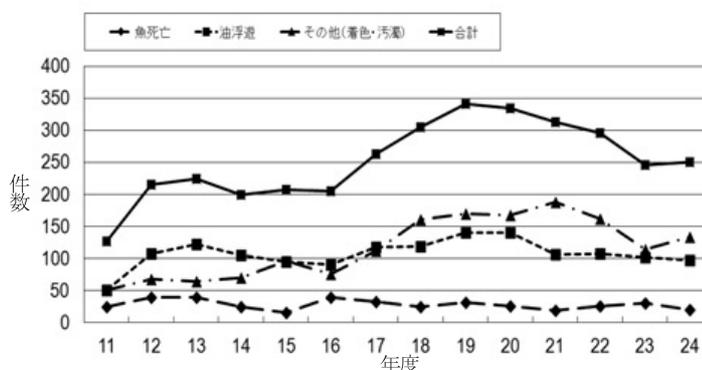


図1 神奈川県内の水質事故発生件数の経年変化

### 3 水質事故の主な原因

#### (1) 魚死亡事故

魚死亡事故の主な原因は、クリーニング業者が廃液を流してしまったことによるもの、事業場の排水処理の操作ミスによるもの、塩素等の薬剤の過剰投入によるものでした。

#### (2) 油浮遊(流出)事故

油浮遊事故の主な原因は、敷地内に保管していた廃油、オイル等が降雨により敷地外に漏出し、雨水側溝を通じて河川に流れ出したもの、作業後の廃油を雨水側溝に投棄したため流出したものでした。

#### (3) その他事故

その他事故の主な原因は、工事現場で発生した排水を雨水側溝や雨水マスに流したことによるもの、一般市民が廃塗料等を雨水側溝に流したものでした。

このような工場や工事現場からの排水が側溝等を通じて、河川等へ流出する事故が毎年発生しています。

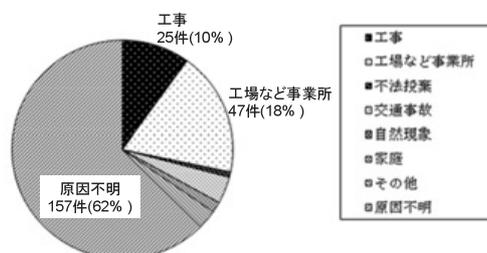


図2 神奈川県内の水質事故の原因別件数(平成24年度)

#### 4 水質事故の事例

平成24年度に発生した水質事故の事例を御紹介します。

##### (1) 工場からの着色剤等の流出による河川着色事故

事業場の従業員から「敷地内から排水路へ青色着色水が流れた」との通報があり、原因を調査したところ、工場棟内に設置された空中配管に亀裂が生じ、そこから合成樹脂原料、着色剤（青色）及び溶剤が漏出、工場棟から場外へ流出したものでした。

現場では、工場棟内の床面、工場棟から水路まで青い固形物が大量に付着していたため、事業者に対し漏出物の回収と応急措置について指示し、併せて恒久対策について報告を指示しました。翌日、着色固形物の回収、清掃の完了を確認し、河川への影響が無いことを確認して事故の収束としました。

##### (2) 浚渫工事に係る排水の放流による濁水事故

市職員が河川に油膜を含んだ濁水を発見したため、発見箇所にオイルフェンスとオイルマットを設置して油の拡散防止措置を行ないました。

その後の原因調査の結果、濁水発見箇所の上流で池の浚渫工事が行なわれており、工事施工者が、濁った排水を強制放流していたことが判明したため、施工者に対し、排水を停止して濁水の処理を適切に行うよう指示し、原因や再発防止対策に関する報告書の提出を指示しました。

#### 5 水質事故防止に関する取組事例（県央地域における事例）

県央地域県政総合センターでは、平成22年度「神奈川力」まるごと活用事業として、神奈川県内陸工業団地（厚木市・愛川町）を水質事故防止のための地域協力体制づくりのモデル地区に指定し、同団地協同組合と連携して、水質事故の未然防止や発生時の即応体制の向上に関する取り組みを行いました。具体的には、オイルマット等の水質事故対策資材の保有情報の共有化、団地内における防災訓練の実施、水質事故講習会の開催、水路マップの作成を行い、この取組を通じて、団地内事業所における水質保全意識の向上等を図ることができました。

#### 6 水質事故の未然防止について

水質事故は、未然防止が「第一」です。事業者の皆様には、日常から事故を起こさないよう、自ら設備管理の徹底や、作業ミス防止に取り組んでいただくことが必要です。

そこで、県では、事業者の自主的な取り組みを促すため、平成24年10月に「県生活環境の保全等に関する条例」に基づく指針を改正し、事業所における点検の実施や、汚染拡大防止のための資材を保有することなどを定めました。

また、日常の取り組みとともに、万が一事故が発生してしまった場合には、最寄りの市町村の公害担当窓口や各地域県政総合センター環境部に御連絡をいただき、併せて迅速な汚染拡大防止措置や原因究明に御協力くださいますようお願いいたします。

神奈川県において発生した水質事故の事例や水質事故への対応リーフレットなど、県内の水質事故に関連する情報を県のHPに掲載しておりますので、ご覧ください。

【「かながわの水質事故」<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6997/>】

## 「やまのみどりの保全と創造」に向けた企業との協働 ②



# 森林再生パートナーになりませんか

～ 県と協働で取組む森林づくり～

### はじめに

県内の森林は、安価な外国産木材の輸入量の増加などから、林業活動が低迷し、近年、手入れの行き届かない森林が増えていました。そこで県では、県土面積の4割を占める水源地域の森林を豊かで活力ある森林として守り育てていくために、県が実施する森林整備と併せて、企業・団体の皆様との協働で森林の再生に取り組んでいます。今回はその取組みの一環である「森林再生パートナー制度」をご紹介します。

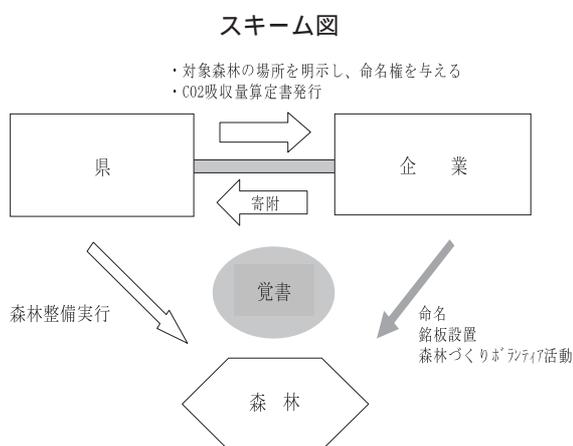
### 森林再生パートナー制度の概要

この制度は、企業・団体の皆様から、県が行う森林整備等にかかる費用に充てるため、毎年60万円以上の寄附を5年間継続していただくこと、間伐や枝打ちなどの森林づくり活動に参加していただき、森林のはたらきや、森林づくりの重要性について理解を深めていただくことが大きな柱となっています。

このほか、パートナーとなった企業・団体の方は、県が管理する森林に「会社の森」などの名前を付けることができる（ネーミングライツ）ほか、いただいた寄附で整備した森林が吸収するCO<sub>2</sub>を県が算定する制度（算定書の交付）となっています。

### 森林再生パートナーの森林づくり活動

県では、子ども達でも間伐が行える条件の良い森林を用意し、皆様にご案内しています。具体的に南足柄市にある「塚原ボランティアフィールド」では、苗木の成長を促進するための「下草刈り」や、枯れ枝から病害虫の侵入を防ぐための「枝打ち」を行うことができます。また、松田町にある「やどりき水源林」では、間伐や枝打ちのほか、水生生物観察・自然観察・木工工作などを行うことで、森林への理解を深めることができます。なお、このような活動のプロである「かながわ森林インストラクター」の紹介や派遣についても、協力を行います。



間伐体験



水生生物観察



クリスマスリース作り

### 🌿 県取り組み

県では、皆様から寄附金をいただき、水源林を整備した結果、現在、約16,100ha（東京ドーム約3,500個分に相当）の森林の手入れが進んでいます。枝打ちや間伐を行って明るくなった森林は、下草がたくさん生え、水源かん養機能が高い「緑のダム」となっています。



荒れた森林



整備された森林

### 🌿 おわりに

このように、森林を再生させるためには、今後も継続的な活動が必要となりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

### 🌿 森林再生（水源林）パートナーの一覧（平成25年6月1日現在）

企業・団体名		企業・団体名	
1	神奈川トヨタ自動車(株)	21	アサヒビール(株)
	麒麟ビール(株)	22	三菱商事(株)
3	連合神奈川	23	K D D I(株)
4	鈴廣かまぼこ(株)	24	富士通エフ・アイ・ピー(株)
5	(株)湘南リビング新聞社 (株)サンケイリビング新聞社	25	(株)A C Kグループ
6	(社)神奈川県法人会連合会	26	(株)野本建設
7	高梨乳業(株)	27	(株)証券保管振替機構
8	住友スリーエム(株)	28	共同カイトック(株)
9	J Aグループ神奈川	29	三浦藤沢信用金庫 平塚信用金庫 さがみ信用金庫
10	麒麟ビバレッジ(株)	30	(株)カナエル
11	J X日鉱日石エネルギー(株)	31	日本石油輸送(株)
12	ルネサスエレクトロニクス(株)	32	三菱倉庫(株)
13	(株)神工舎建築工房	33	(株)モンドローザ
14	(株)荏原製作所	34	富士通(株)神奈川支社
15	鶴岡八幡宮槐の会	35	伯東(株)
16	横浜トヨペット労働組合	36	エバラ食品工業(株)
	(株)日立システムズ	37	日本発条(株)
	日揮(株)	38	社団法人神奈川経済同友会 オイスカ神奈川推進協議会 東京大学同窓会神奈川銀杏会
	三菱重工業(株)		
20	(株)東芝	39	(株)門倉組

印は水源林パートナー

### 🌿 問い合わせ先

神奈川県自然環境保全センター 森林再生部 水源の森林推進課  
〒243-0121神奈川県厚木市七沢657

電話 046 - 248 - 6802 ホームページアドレス <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6730/>

## ゼオライト系水蒸気吸着材AQSOA<sup>®</sup>を適用した 新エネ・省エネシステムのご紹介

### 1. はじめに

ここ数年、夏を迎えるたびに以前より暑いと感じている方は結構多いのではないのでしょうか。そんな日本の蒸し暑い夏を乗り越えるために、今やエアコンは必要不可欠な存在になっています。しかし、その一方で、エアコンの室外機ファンが回っている様子にとっても暑苦しさを感じた方も多いと思います。このような個別空調などの事例からも分かるとおり、熱エネルギーの場所的な偏在、そして時間的なズレ（生産と消費のタイミングが合わない）などによって使い切れず廃棄されている熱が非常に大きくなってきています。このような排熱を有効利用することは、省エネルギーを進める上でとても重要なポイントとなります。

当社はこのような視点で、ゼオライト系水蒸気吸着材AQSOA<sup>®</sup>（アクソア<sup>®</sup>）（三菱ケミカルホールディングスグループの三菱化学科学技術研究センターにて開発）を適用した新エネ・省エネに関する新しい技術に取り組んでいます。図1に吸着材による吸着/再生（乾燥）動作の原理を図で示します。格子体で示したゼオライト構造体内に水分子（H<sub>2</sub>O）が取り込まれる吸着工程と、それを吐き出す脱着（再生，乾燥）工程を連続的に繰り返すことによって吸着材は様々な用途に利用できます。

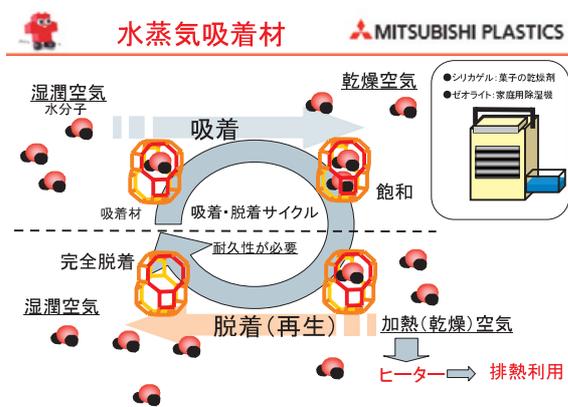


図1 吸着材の吸着・脱着サイクル

(三菱樹脂(株)平塚工場内)



図2 AQSOA<sup>®</sup> 開発棟

ここでは、新吸着材AQSOA<sup>®</sup>を適用した2種類の新エネ・省エネ技術を紹介します。ひとつは、ヒートポンプ技術を応用した吸着式冷凍機であり、もうひとつは除湿技術を応用したデシカント空調機です。いずれもすでに製品化し、日刊工業新聞社主催の第15回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞 環境大臣賞など多くの価値ある技術賞を授与されるに至っています。平塚工場では、吸着材を塗布した熱交換器の製造、及び以下に紹介するAQSOA<sup>®</sup>を適用した新技術の開発とその性能向上に取り組んでいます。

### 2 AQSOA<sup>®</sup> 技術のご紹介

#### 2-1 吸着式冷凍機

吸着式冷凍機とは、涼をとるための“打ち水”の原理を応用した冷凍機です。“打ち水”をすると、散水した水が水蒸気となって蒸発する際、熱い外気から熱（気化熱）を奪うため外気温度

が下がります。即ち、“打ち水”では、熱い外気（太陽熱）を用いて外気を冷やしているのです。

吸着式冷凍機も同様の原理によって、温熱（温水）を使って冷水を製造します。電気を消費して冷熱をつくるエアコンとの大きな違いはこの点にあります。さらに特筆すべき点は、AQSOA<sup>®</sup>を適用した吸着式冷凍機の場合、その駆動源となる温水温度が70以下と従来機器より低いため、これまで有効活用するのが困難だった低温排熱を利用できることです。以下に温熱を利用して冷水を製造するAQSOA<sup>®</sup>吸着式冷凍機を用いたシステム事例を紹介します。

### (1) ソーラークーリング（太陽熱冷房）システム

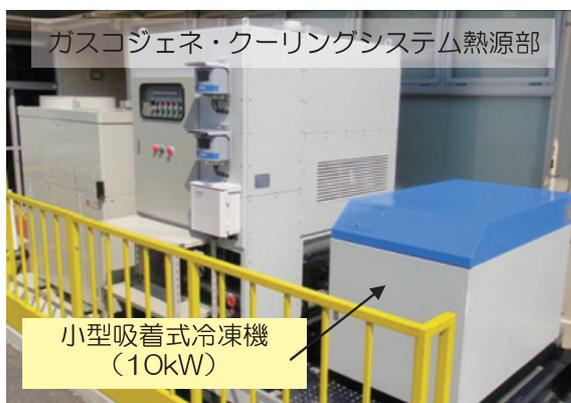
図2に示すAQSOA<sup>®</sup>開発棟に設置した太陽熱パネルで温水を作り、温水の熱でAQSOA<sup>®</sup>吸着式冷凍機を稼働させて開発棟を冷房しています（ソーラークーリングシステム）。これは環境省の補助事業の一環として設置したもので、太陽熱で夏季は冷房し、冬季は暖房する新エネルギー（太陽熱）を活用した次世代空調システムを実証評価しています。

### (2) トリジェネレーション（電力 温水 冷水）システム

次世代電源の候補であるコジェネレーション（電気と温水を同時に作り出す機器）とその温水を駆動源とするAQSOA<sup>®</sup>吸着式冷凍機を組み合わせることで、電気と温水に加えて効率よく冷水も作り出せるトリジェネレーションシステムの性能評価を実施しています（図3参照）。

## 2 - 2. デシカント除湿機

デシカントとは水蒸気吸着材（乾燥材）を意味します。デシカント除湿機とは吸着材を用いた除湿機のことであり、エアコンのように冷却結露作用による除湿とは異なり、吸着材に湿気を吸わせることによって除湿します。従って、AQSOA<sup>®</sup>を適用したデシカント除湿機では、エアコンでの冷却結露に必要な過剰冷却が不要になることに加えて低温再生が可能なため、画期的な省エネ効果が期待できます。図4にデシカント除湿機の原理を図で示します。図中のハニカムロータ内に吸着材が担持されており、それが回転することにより吸着と再生（乾燥）を連続的に繰り返します。



三菱樹脂(株) 平塚工場

図3 トリジェネレーション設備

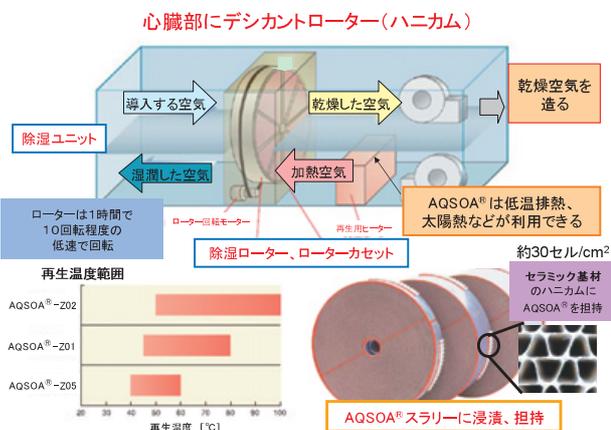


図4 デシカント除湿機

## 3 おわりに

新吸着材AQSOA<sup>®</sup>を適用した新エネ・省エネ技術が、今後のエネルギー問題や地球温暖化対策の一助となることを期待しています。またここで紹介しましたAQSOA<sup>®</sup>を適用した吸着式冷凍機設備には国の補助金が適用できます（補助率：最大50%）。余剰な排熱（特に80～100付近以下）の有効活用には、当社のAQSOA<sup>®</sup>技術をご検討いただければ幸いです。また当社の平塚工場内に設置したAQSOA<sup>®</sup>開発棟（図2参照）には、AQSOA<sup>®</sup>技術を初めとする三菱樹脂の環境技術を展示し、体感していただけるコーナーを備えておりますので、ご興味ある方は是非一度ご来場下さい。



## ガラスのリサイクル

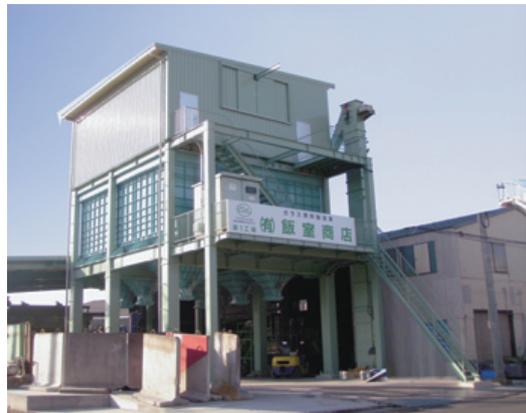
有限会社飯室商店 飯室 由美子

### 1 はじめに

みなさまこんにちは。このたび、特集『リサイクル事情あれこれ』のご縁がありまして、まずは「ガラスのリサイクル」についてあれこれのご案内させていただくこととなりました、ガラス原料製造業の有限会社飯室商店と申します。日々の暮らしの中にガラス製品はたくさんありますが、ガラス原料とは？ガラスリサイクルとは？といったことから、ガラス分別のコツなどをせん越ながらご案内させていただきます。どうぞ最後までお付き合いください。

### 2 弊社の概要

弊社は、1959年横浜市鶴見区で小さな手吹き（\*1）の製びん工場として創業しました。その後製びんは機械式量産時代となりましたため手吹きを廃止し、1964年からガラス原料製造業へ移行しました。現在の綾瀬市さがみ野工業団地へ新設移転いたしましたのは1980年のことです。移転後は取扱いガラス種類の増加に伴い工場を増設して、現在は工業団地内5工場、愛知県2工場、福岡県1工場（出張所）で操業しております。



（\*1...水あめ状に溶けたガラスを吹き竿に巻き取り、息を吹き込んで成形するガラス工芸技法）

### 3 ガラス原料とリサイクル

ガラス原料には、珪砂などの天然資源を原料とする「生調合」と、ガラスそのものを原料とする「カレット」の2種類があります。弊社はこの「カレット」を製造し、ガラス製品の製造メーカーへ納品・売却しております。

みなさまは「ガラス」と聞いてなにを思い浮かべますでしょうか？

コップ・びん・サッシ・照明器具・自動車の窓、最近では液晶画面や太陽光パネルもガラス製品として認識していただいているかもしれません。これらのガラスは、実はそれぞれ少しずつ組成が異なっているため、混合してしまうと納品・売却できる「カレット」にすることが出来ないので。また、異物（ガラス以外のすべて）もガラス製品の不良原因となりますので、徹底除去が必要不可欠となります。ガラスは、ガラス種類ごと（組成ごと）に選別・異物除去することにより、「カレット」として再びガラスへと生まれ変わることが出来ます。

弊社は、この選別・異物除去を、50年来変わらずに"人の手と目"によって行ってきており、今後も変わることがないと思います。

### 4 ガラス分別のコツとお願い

ここでは、ガラス分別のコツについてご説明します。みなさまのお住まいの地域では資源回収が行われていると思いますが、「ガラスびん」の出し方は、多くが無色透明・茶色・その他色（緑色など）の3種類の色による分類ではないでしょうか。

ガラスのリサイクルは、ただ単純に色を分けるだけとお考えかもしれませんが、でもここにも、

ガラスリサイクルに重要なポイントが隠されております。

右写真1の2本のガラスびんは、太さも高さも口の形状もよく似ています。きっと「茶色びん」として分類されることでしょう（実際にも茶色びんとして弊社にやってきます）。ですが一方は溶けにくいガラス（硬質系耐熱ガラス<sup>(\*2)</sup>）でできており、双方を混合することができないのです。さて、どちらが溶けにくいガラスでしょうか？

（\*2...熱衝撃に強く実験器具やコーヒーサーバなどに使用されている。溶融温度は1000 を超える。）

正解は・・・ 右側が「硬質系耐熱ガラス」です。ではどうやって見分けたいいのでしょうか??? 空きびんを見たら、まずびんの底を確認してみてください。

底部円周に沿って規則正しい突起や実線、なにがしらの「刻印」があれば、それは軟質ガラス<sup>(\*3)</sup>です。

ほとんどのガラス製品が軟質ガラスと言っても大げさではありません。ぜひ工場・事業所から出るびんやご家庭のびんをひっくり返して見てください。インスタントコーヒーやドレッシングのびんにも、きっと突起や実線があるはずですよ（写真2参照）。

（\*3...軟化点が比較的低く、900 で水あめ状態となる。一般的な汎用ガラス）

ちなみに「硬質系耐熱ガラス」は、ツルツルとして突起も実線も刻印もありません。資源回収の際には、ぜひこの分別を実践してみてください。そして、家庭では回収ステーションにお越しになっている方にぜひご説明ください。夜のお楽しみの席でも、ちょっとご披露ください。きっとモテモテです。

さて、軟質ガラスと硬質系耐熱ガラスの製法の違いについてご興味がありましたら、以下までお問合せください。



写真1

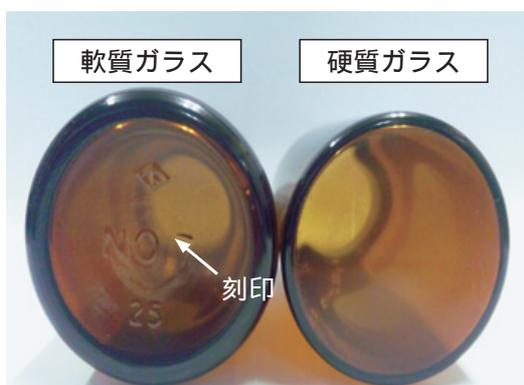


写真2

## 5 おわりに

ご興味をお持ちいただけました方は、どうぞ弊社までお越しくださいませ。サンプルをたくさんご用意してお待ちいたしております。また、ガラスリサイクルについてのご質問ご相談がございましたらご遠慮なく下記までお問い合わせください。

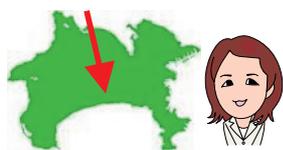
### \* ガラスのリサイクルに関する問合せ・ご相談は

有限会社飯室商店 総務グループ 飯室 由美子

〒252-1123 神奈川県綾瀬市早川2605 - 47 本社（電話）0467 (76) 6040  
(MAIL) yumiko@iimuro.jp

\* 特集『リサイクル事情あれこれ』では、トップバッテリーとして「ガラスのリサイクル」についてご紹介しましたが、今後とも紙、プラスチック、再生固形燃料、トナー・OA機器及び蛍光管などのリサイクル事情についてもご紹介していく予定です。

## 会員事業所訪問⑰ お元気ですか？



今回は県南部、平塚市の  
事業所です！

### 大東化学(株)平塚工場

協議会事務局 山崎 美紀



(工場外観)

大東化学(株)平塚工場は相模川を挟んで平塚市の飛び地となる茅ヶ崎市境の須賀新田地区に立地しています。会社創業は昭和25年、三井物産(株)の資本によりここ平塚に設立、工場稼働。創業当初より写真処理剤用無機薬品を製造しているそうで、後に富士フイルム(株)の資本参加及び技術提携を経て現在に至っています。

当協議会には設立当初の昭和53年から入会いただいております。敷地面積は約53,000㎡、工場の従業員数は約170名で敷地内には研究所も併設されています。写真処理薬品以外の主な製品は、医薬関係では「人工透析薬の原料」、食品添加物関係では「日持ち向上剤の原料」、環境関係では「排水処理剤」などです。

また「排水処理剤」は主にメッキ工場の廃水に含まれる「六価クロム」を処理する薬剤で、国内では2社のみ製造しているそうです。現在力を入れているのは、食品に使用される「日持ち向上剤」、いわゆる食品添加物です。

大手コンビニチェーンなどの「保存料排除」の動きをきっかけに「日持ち向上剤」へのシフトが加速し各メーカーともにしのぎを削ってきたとのお話でした。

#### 酢酸カルシウムの機能



とネーミングされた酢酸カルシウム。

こうした市場環境の中、現在大きな注目を浴びている製品としてご紹介頂いたのが「カルフレッシュ」

今秋にも「食品添加物」として認可見込みとのことで、特徴としては、形状保持効果(煮崩れ防止や食感向上)、鮮度保持効果(褐変防止や食中毒菌抑制)、名前の通り「カルシウム」を効果的に摂取することが可能で非常に使い勝手の良い製品だそうです。

環境保全活動としては、特定施設を有する工場として大気・水質保全対策はもとより、化学製品製造工場として、化学物質の適正管理、また廃棄物削減活動などにも積極的に取り組まれています。

省エネ対策としては原料ガスを製造する際に発生する熱を廃熱ボイラーで回収し、2012年度には約8000tの蒸気を製造させる事により、通常ボイラーの稼働低減を図り、CO<sub>2</sub>削減効果は約1400t/年とのことでした。ISO14001を平成12年に取得され、他にも第三者の審査登録が必要な「食添GMP」の認証登録もされています。また、従来から防災活動も積極的に行われ、相模川に近いということもあり大地震及び津波を想定した避難訓練の実施や平塚市・自治会との各種協定など防災対策への意識の高さを非常に感じました。



(危険物火災対応訓練)

また、敷地隣接の社宅を近隣の「津波避難ビル」に指定、グラウンド等を一時避難場所にするなど地域の防災拠点にもなっているのがとても特徴的な工場です。

大震災後の今、企業に求められる地域での役割がますます大きくなっていると実感した取材となりました。

— 掲載内容についてのお問合せ先 —  
大東化学(株)平塚工場  
環境安全課 課長 大関 正紹  
(0463) 23 - 8511 (代表)

# 協議会の活動状況

## 1 会員の状況 平成25年7月31日現在

区 分	正 会 員	賛助会員	計
前回までの計	3 1 7	2 4	3 4 1
新 入 会 員	1	0	1
退 会 会 員	7	0	7
計	3 1 1	2 4	3 3 5

新入会員（平成24年4月1日～平成25年7月31日） 1社

	事業所名	業務内容	所在地	代表者名	電 話
1	(株)アマダ伊勢原事業所	産業用金属加工機械	伊勢原市石田200	総務部長 今井 潔	(0463) 96-3404

退会会員 7社 (H25. 7 月末現在)

## 2 平成24年度事業決算監査

日 時 平成25年4月12日(金) 15:30～17:00

会 場 横浜市開港記念会館

出席者 武田 純一 監事、宮井 達也 監事  
(立会人) 県環境農政局総務室総務 G  
豊田 彰 グループリーダー

・演習 (システム監査)

・演習 (チェックリストの作成)

・研修効果確認

講 師 当協議会 環境保全アドバイザー 2名

## 3 平成24年度ISO14001内部環境監査養成研修会

日 時 平成25年5月9日(木)～10日(金)

会 場 万国橋会議センター

受講者 38名

内 容 ・環境側面について  
・ISO14001規格要求事項の概要と内部監査のポイント  
・環境法規  
・内部監査の進め方  
・演習 (整合性監査)

## 4 平成25年度第1回理事会

日 時 平成25年5月23日(木) 13:00～13:30

会 場 日産グローバル本社 ホール

出席者 21名

(1) 平成24年度事業報告について

(2) 平成24年度収支決算報告について

(3) 定款の一部改正案について

(4) その他

## 5 第1回定時総会 (P2を参照)

日 時 平成25年5月23日(木) 14:30～18:45

会 場 日産グローバル本社 ホール

出席者 101名

## 6 平成25年度第1回広報・ホームページ担当部会委員会

日 時 平成25年6月14日(金) 15:00～17:00

会 場 (株)さんこうどう

内 容 (1) 会報128号発行について

(2) 今後の会報の発行計画について

(3) ホームページ広報について



7 平成25年度ISO内部監査員ブラッシュアップ  
研修会

日 時 平成25年6月19日(水) 9:30～16:45

会 場 横浜・波止場会館

受講者 10名

内 容 (1) 企業における環境管理と内部監査の役割  
(2) 最近の環境法令の動向  
(3) 内部監査の在り方(ISO19011等)  
(4) 実践演習(模擬監査、監査所見の作成)

講 師 当協議会 環境保全アドバイザー 3名



8 平成25年度神奈川県環境保全功労者  
県政総合センター所長表彰式

【湘南地域】

日 時 平成25年6月18日(火) 14:00～15:30

会 場 県平塚合同庁舎

【県央地域】

日 時 平成25年6月26日(水) 14:00～15:00

会 場 県厚木合同庁舎

(受賞者の紹介についてはP 5 参照)

9 平成25年度神奈川県環境保全功労者 環境  
農政局長表彰式

日 時 平成25年7月25日(木) 14:00～15:00

会 場 神奈川県庁

(受賞者の紹介についてはP 5 参照)



## 県からのお知らせ

夏だ！科学だ！体験しよう！

～ 県下132機関の科学の魅力に触れる「かながわサイエンスサマー」～

「科学技術離れ」「理科離れ」が指摘されていますが、夏休み期間中、県内各地で、未来を担う子どもたちが科学の楽しさを知り、親しむことのできる様々な行事が開催されます。

多くの県民の方々に楽しんでいただいている「かながわサイエンスサマー」は、今年で13回目を迎えますが、本年度は132機関でさまざまな行事が開催されますので、日常では経験できない科学の魅力に是非とも触れていただき、新しい体験をお楽しみください。

開催期間：平成25年7月13日（土曜日）～9月1日（日曜日）

開催機関：132機関（県機関、国・市町村機関、大学、企業、その他）

詳細内容：県のホームページ「かながわサイエンスサマー」

【URL】<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7414/>

問合せ先：神奈川県政策局政策部科学技術・大学連携課

電話：045 - 210 - 3071（直通）

この事業への参加にご興味のある会員企業様は、詳細について事務局までお問合せください。

協議会事務局 (045) 210 - 8727



# わがお国自慢

～大阪府寝屋川市編～



筆者は大阪生まれの大阪育ちである。この大阪を出て30年以上、神奈川県に居を構えて20年以上になり、大阪弁を忘れてしまったかに思えるが、大阪に戻ると一日も経たないうちに大阪弁に復活する。

大阪と聞いて何を連想されるだろうか？ うるさい、狭い・・・そのとおりである。うどん、たこ焼き、お好み焼き・・・本当に美味しいです。USJ（ユニバーサルスタジオジャパン）、大阪城、通天閣・・・一度は訪れてみて下さい。阪神タイガース・・・言わずもがなです。

中でも大阪城は筆者の「庭」と言うべき存在である。高校時代、この大阪城の目の前に有る高校に通っていた。そして部活動で大阪城公園の外堀り周り8キロを毎日ランニングしていた。いわば青春の思い出の地である。

大阪人にとっても大阪魂の支えとなっている存在ではないだろうか。私事はさておいて、この大阪城、来年（平成26年）にあの「大阪冬の陣」から400年を迎える。豊臣家と徳川家の最終決着戦となつたのが「大坂冬の陣」「大坂夏の陣」である。この結果、大坂城は落城し、秀頼・淀殿が自害して豊臣家は滅亡した。それから400年を迎えるのである。大阪の陣は、今の大阪、いや今の日本を形作る大きな節目で有ったことは間違いない。400年を迎え大阪では、何やら行事が目白押しで熱いらしい。そんな大きな歴史を持つ大阪城であるが、今の大阪城は三代目である。一代目は当然、豊臣秀吉が築城、大阪の陣で焼失。そして二代目はなんと徳川秀忠が再築しているのである。幕府は豊臣家の威光を払拭し、西日本を支配するために再築したとか。



しかし、これも幕末期に焼失。今の姿は昭和初期に再建された三代目である。実に波瀾万丈である。この大阪城、ミステリー話がいくつかある。お堀の石垣に人面石が隠されているという。また雨が降る日に竜が現れる岩が有るといふ。大阪城の隅から隅まで知っているつもりの筆者だが、未だその存在を確認したことはないが。

大阪人にとって太閤さんに対する思いは計り知れないものがある。当時の大阪の反映をもう一度ということだろう。是非とも、この節目の時に大阪に足を運んでいただき、美味しいたこ焼きを口にしながら、歴史に思いを寄せていただければと思う。

（記 富士フイルム(株)神奈川工場 三島 雅之）



## 広報委員会

委員長	株日立製作所ITプラットフォーム事業本部	員	三菱樹脂(株)平塚工場
副委員長	市光工業(株)伊勢原製造所	委	株岡村製作所追浜事業所
委 員	株さんこうどう	委	ソニー(株)厚木テクノロジーセンター
委 員	富士フイルム(株)神奈川工場	委	株ニコン相模原製作所

## ✉ 事務局だより ✉

会員の皆様には日頃から“しんかんきょう”をご覧いただきありがとうございます。

法令・行政動向や会員企業の現状や最新の技術情報など限られたスペースになりますが、皆様の少しでも参考になる内容を盛り込んでいきたいと思っております。

是非、お気軽にご意見・ご要望をお寄せください。また、表紙を飾る「写真」も随時募集しておりますので自慢の作品をご提供くださいますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。

## 会報 しんかんきょう128号

発行年月日	平成25年8月
発行人兼	公益社団法人神奈川県環境保全協議会
編集責任者	会長 吉村 東彦 横浜市中区日本大通1 (神奈川県環境農政局内) 電話 (045) 210-8727 E-mail: shinkankyoku@eagle.ocn.ne.jp ホームページ: http://www.shinkankyoku.or.jp
編集協力 製作・印刷	株さんこうどう( <a href="http://www.sankodo.ne.jp">http://www.sankodo.ne.jp</a> ) 電話 (0466) 27-2511

「なにかとプラスな数式 その1」



太陽



アクソア  
AQSOA®

= 省エネ

今までは使用できなかった太陽光熱や、工場排熱も利用可能  
.....  
ゼオライト系水蒸気吸着材「AQSOA®」

なにかと**プラス**がある会社。  
MITSUBISHI PLASTICS



三菱樹脂PRキャラクター  
プラスくん

太陽光熱、工場排熱、自動車の排熱など、世の中には利用されていなかった低い温度領域の熱エネルギーがあります。この熱をかしこく利用するのが「AQSOA®」です。「AQSOA®」は、低温でも効率よく水蒸気を吸着・放出できる新素材。低い熱源で装置が稼動するため、これまで使っていなかった太陽光熱や排熱を利用して、冷房や除湿を行うことができます。工場やビル、スーパーマーケットで、省エネやCO<sub>2</sub>削減に大きく貢献します。

